

岡垣町学校施設適正配置検討審議会

1. 諮問内容

令和6年8月26日

岡垣町立小中学校については、整備後50年を経過した施設が半数以上を占め、老朽化が進んでいる状況から、施設の維持補修及び更新費用や施設整備に必要となる財源の確保など、計画的な対応が必要になっています。

学校施設の整備においては、子どもたち一人ひとりに最適で質の高い教育を提供することを第一に考え、今後の児童生徒数の減少なども考慮しながら、適正な学校規模、小中一貫教育や義務教育学校など、将来的な学校施設のあり方を見据えた上で進めることが重要です。

また、学校は、地域コミュニティの拠点としての機能なども期待されていることから、今後の町の人口推移や校区コミュニティをはじめとする地域活動への影響なども勘案した広く慎重な議論が求められます。

つきましては、今後の岡垣町の学校施設の適正配置等の方向性についてご意見を賜りたく、下記の事項について諮問いたします。

記

【諮問事項】

将来にわたる児童生徒の教育環境の充実に向けた学校施設整備に係る基本方針について

- (1) 適正規模について
- (2) 小中一貫教育について
- (3) 岡垣中学校の施設整備について

2. 答申内容

令和7年2月5日

令和6年8月26日付けで諮問を受けた「将来にわたる児童生徒の教育環境の充実に向けた学校施設整備に係る基本方針」について、本審議会では慎重審議の結果、下記のとおり答申いたします。なお、その他事項として意見を付しますので、十分留意のうえ、今後議論されるよう要望します。

記

(1) 適正規模について

概ね基本方針（案）に沿って進められたい。

(2) 小中一貫教育について

概ね基本方針（案）に沿って進めることを基本とするが、町の中長期的な展望である義務教育学校の導入等については、今後の児童生徒数の推移や義務教育学校等の効果検証の状況を勘案しながら、継続して検討されたい。

(3) 岡垣中学校の施設整備について

今後の児童生徒数の減少などを考慮した検討が必要であることも一定の理解はできるが、施設の老朽化の現状を踏まえ、生徒の安全で快適な教育環境を第一に考え、早急な整備を図られたい。

【その他事項】

岡垣中学校の次に建築時期が古い内浦小学校・吉木小学校・戸切小学校の3校の整備に関しては、岡垣中学校の施設整備の在り方を決定した後、速やかに、学校施設の適正配置を含めた具体的な議論を開始されたい。